



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月27日

上場会社名 株式会社 東海理化電機製作所
コード番号 6995 URL <http://www.tokai-rika.co.jp>

上場取引所 東 名

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 牛山 雄造

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 粕谷 実也

TEL 0587-95-5211

四半期報告書提出予定日 平成23年10月28日 配当支払開始予定日 平成23年11月25日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	135,802	△18.8	1,382	△88.4	1,909	△83.9	1,209	—
23年3月期第2四半期	167,268	17.1	11,882	692.9	11,886	315.0	△505	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △2,202百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △3,622百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	13.40	—
23年3月期第2四半期	△5.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	255,728	157,109	59.9
23年3月期	259,704	161,125	60.3

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 153,198百万円 23年3月期 156,661百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	16.00	—	14.00	30.00
24年3月期	—	14.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	16.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	314,000	△4.2	10,700	△43.4	11,900	△40.7	7,500	43.3	83.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P. 3「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	94,234,171 株	23年3月期	94,234,171 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	3,918,908 株	23年3月期	3,917,492 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	90,316,182 株	23年3月期2Q	90,323,210 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成23年8月1日決算発表時に公表した連結業績予想を修正しておりません。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	P. 3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書 第2四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書 第2四半期連結累計期間	P. 7
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(4) セグメント情報等	P. 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、先進国全体では、景気の減速感が強まりました。また、中国、インドでは、輸出や内需の伸びが鈍化しましたが、堅調に推移し、成長を維持し続けました。一方、日本では、震災で大きな影響を受けましたが、一時的な要因にとどまり回復基調となりました。

自動車業界におきましては、米国での販売台数が回復基調となり、また、中国、インドでの販売台数は、高水準を維持しつつも販売台数の伸びが鈍化しました。一方、日本におきましては、震災の復興が進み、生産は回復しましたが、販売の回復には至らず、販売台数が減少しました。

このような環境下におきまして、当社グループでは震災による減産対応のため、会社休業、経費削減や設備投資抑制などを実施し、利益確保に努めました。他方、従前から実施している品質基盤の強化や商品競争力の向上にも努め、また、グローバル展開への対応のため、インドネシアに新会社を設立し、ブラジルでは新工場を稼働させました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、連結売上高は135,802百万円と、前年同四半期に比べ31,466百万円(18.8%)の減収となり、利益につきましては、連結営業利益は1,382百万円と、前年同四半期に比べ10,500百万円(88.4%)、連結経常利益は1,909百万円と、前年同四半期に比べ9,977百万円(83.9%)のそれぞれ減益となりましたが、連結四半期純利益は1,209百万円と、前年同四半期に比べ1,714百万円(-%)の増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(日本)

震災の復興が進み、客先生産台数に回復は見られたものの、第1四半期連結会計期間における減産の影響と円高の継続により、売上高は98,040百万円と、前年同四半期に比べ22,572百万円(18.7%)の減収となりました。営業損失は、349百万円と、前年同四半期に比べ6,547百万円(-%)の減益となりました。

(北米)

客先生産台数の減少などにより、売上高は20,562百万円と、前年同四半期に比べ8,285百万円(28.7%)の減収となりました。営業損失は、売上高の減少などにより1,008百万円と、前年同四半期に比べ1,487百万円(-%)の減益となりました。

(アジア)

客先生産台数の減少などにより、売上高は25,589百万円と、前年同四半期に比べ3,963百万円(13.4%)の減収となりました。営業利益は、売上高の減少などにより2,698百万円と、前年同四半期に比べ2,403百万円(47.1%)の減益となりました。

(その他)

売上高は7,755百万円と、前年同四半期に比べ720百万円(10.2%)の増収となりました。営業利益は、26百万円と前年同四半期に比べ150百万円(84.8%)の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

資産は255,728百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,976百万円減少いたしました。

これは、主に現金及び預金の減少によるものであります。

(負債)

負債は98,619百万円となり、前連結会計年度末に比べ40百万円増加いたしました。

これは、主に仕入債務の増加によるものであります。

(純資産)

純資産は157,109百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,016百万円減少いたしました。

これは、主に為替換算調整勘定の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、世界経済において、円高、欧州での信用不安の再燃、新興国のインフレなどによる消費の低迷が見込まれ、自動車販売も予断を許さない状況にあります。加えて、タイの洪水の影響により、同国の自動車生産に止まらず、近隣アジア諸国、日本を含めた地域での自動車生産に影響が及ぶ可能性がある状況にあります。

このような経営環境のもと、当社グループが更なる成長を遂げるため、引き続き、「品質」「新製品開発」「アジアで勝つ」「筋肉質の経営体質」の重点課題に対し、グループを挙げて「スピード」「実行」「フォロー」をモットーに取り組み、一人ひとりが現実を直視し、時代の変化を敏感に察知し、「自ら考え、自ら行動する」ことにより、成果を出すとともに、法令遵守、社会貢献などの社会的責任を果たすことで企業価値向上に努めてまいります。

通期の連結業績予想につきましては、平成23年8月1日決算発表時の公表値を修正しておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,156	16,692
受取手形及び売掛金	41,643	48,907
有価証券	45,479	49,342
商品及び製品	6,776	6,163
仕掛品	11,527	11,205
原材料及び貯蔵品	4,156	4,506
その他	14,274	14,684
貸倒引当金	△38	△32
流動資産合計	150,976	151,470
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	26,173	25,194
機械装置及び運搬具（純額）	20,428	18,788
その他（純額）	23,330	23,436
有形固定資産合計	69,932	67,419
無形固定資産	2,024	1,783
投資その他の資産		
投資有価証券	21,671	18,252
その他	15,223	16,926
貸倒引当金	△123	△123
投資その他の資産合計	36,771	35,054
固定資産合計	108,727	104,258
資産合計	259,704	255,728

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,716	41,076
短期借入金	4,011	5,166
1年内返済予定の長期借入金	276	677
未払法人税等	672	603
賞与引当金	5,765	5,054
製品保証引当金	8,939	8,659
その他の引当金	244	137
資産除去債務	113	106
その他	14,213	11,797
流動負債合計	72,954	73,278
固定負債		
長期借入金	7,878	7,829
退職給付引当金	16,748	16,696
その他の引当金	583	462
資産除去債務	67	67
その他	347	285
固定負債合計	25,625	25,340
負債合計	98,579	98,619
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,856	22,856
資本剰余金	25,134	25,134
利益剰余金	124,833	124,778
自己株式	△7,045	△7,047
株主資本合計	165,778	165,721
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△42	△553
為替換算調整勘定	△9,074	△11,969
その他の包括利益累計額合計	△9,117	△12,523
新株予約権	662	713
少数株主持分	3,801	3,197
純資産合計	161,125	157,109
負債純資産合計	259,704	255,728

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	167,268	135,802
売上原価	141,840	121,772
売上総利益	25,428	14,029
販売費及び一般管理費	13,545	12,646
営業利益	11,882	1,382
営業外収益		
受取利息	257	286
受取配当金	61	96
持分法による投資利益	121	215
助成金収入	62	405
その他	227	308
営業外収益合計	729	1,312
営業外費用		
支払利息	125	142
為替差損	533	612
その他	66	29
営業外費用合計	725	784
経常利益	11,886	1,909
特別利益		
新株予約権戻入益	57	51
特別利益合計	57	51
特別損失		
投資有価証券評価損	—	29
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	184	—
製品保証引当金繰入額	12,535	—
特別損失合計	12,719	29
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△775	1,932
法人税等	△669	652
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△106	1,279
少数株主利益	399	69
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△505	1,209

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△106	1,279
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△806	△507
為替換算調整勘定	△2,549	△3,026
持分法適用会社に対する持分相当額	△161	52
その他の包括利益合計	△3,516	△3,481
四半期包括利益	△3,622	△2,202
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,885	△2,195
少数株主に係る四半期包括利益	262	△6

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	北米	アジア	計				
売上高								
外部顧客への売上高	103,846	28,762	27,629	160,238	7,029	167,268	—	167,268
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16,766	84	1,923	18,774	5	18,780	△18,780	—
計	120,612	28,847	29,552	179,013	7,035	186,048	△18,780	167,268
セグメント利益	6,198	479	5,101	11,779	176	11,956	△74	11,882

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州及び南米の現地法人の事業活動を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△74百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	北米	アジア	計				
売上高								
外部顧客への売上高	83,716	20,524	23,960	128,200	7,601	135,802	—	135,802
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14,324	37	1,629	15,991	154	16,145	△16,145	—
計	98,040	20,562	25,589	144,192	7,755	151,948	△16,145	135,802
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△349	△1,008	2,698	1,339	26	1,366	16	1,382

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州及び南米の現地法人の事業活動を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額16百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。